

2016 年 9 月 2 日

主催：復興庁 企画・運営：一般社団法人東の食の会

協力：福島県/ヤフー株式会社/シナジーマーケティング株式会社
一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺ

福島のヒーロー農家、販売事業者、福島の食のファンが結集し、福島の食の新しい時代の幕を開ける。

福島の食のファンクラブ「チームふくしまプライド。」結成発表

～ヒーロー農家が勢揃い、「ふくしまプライド。」生みの親・箭内道彦さんも応援。新商品も発表。～

復興庁と一般社団法人東の食の会は、9月8日（木）14:30より、チャンネルスクエア（福島市）にて、福島の食のファンクラブ「チームふくしまプライド。」の発足をはじめ、風評被害対策を踏まえた福島の食の新しい時代の幕開けとなる取組について、記者発表会を開催します。

当日は、「気軽に農家に会えて、素敵な商品が買える」福島の食のファンクラブ「チームふくしまプライド。」発足について発表します。「赤い彗星」と異名をとる有機農家、男前酪農家コンテスト日本一の若き酪農家、日本の耕作放棄地問題に真正面から挑む新規就農の開墾者、桃の糖度で世界一のギネス記録に挑む果樹農家など、新しい福島の農業を作るヒーロー農家が熱い想いを語ると共に、彼らが参加するマーケティング・キャンプ「福島ファーマーズ・キャンプ」を紹介するほか、福島産のヒット商品企画第一弾として、糀の美容ドリンク「Cozy Beauty」の発表を行います。

また、発表の後には、Cozy Beauty の試飲や、ヒーロー農家の自慢の産品を料理するキッチンカーも登場し試食会を行います。是非ぜひご参集いただき共にこれからの福島を応援していただきたく、ご案内させていただきます。

【発表概要】

① 福島の食のファンクラブ「チームふくしまプライド。」発足

- ・ 「気軽に農家に会えて、素敵な商品が買える」福島の食のファンクラブ。
- ・ 会員メンバーは、福島の農家と交流し、福島の商品の販売情報を入手し、商品を購入して楽しむとともに、会員限定の商品購入やツアー参加、Facebook での相互交流もできる。
- ・ ウェブサイト運営のプロであるヤフー株式会社と、ファンクラブ運営のプロであるシナジーマーケティング株式会社の企画の下、地元福島県で活動する一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺが「チームふくしまプライド。」の運営を行い、県内外の知見を活かしてファンクラブの拡大につなげる。

チームふくしまプライド。

② 福島ファーマーズ・キャンプのご紹介

- ・ 新しい福島の農業を作るヒーロー農家を生み出す、マーケティング・キャンプ。
- ・ 浜・中・会津の地域の垣根を超えて、新しい福島の農業を作るという志とプライドを共にする農業者たちが、マーケティングやブランディングについて学び、相互に学びあいながら、連携して具体的なアクションを起こしていく。



③ 福島の米と糀（こうじ）の美容ドリンク「Cozy Beauty（コージー・ビューティ）」新発売

- ・ 地域からヒット商品を生み出してきた「東の食の会」がプロデュースし、「チームふくしまプライド。」のメンバー、さらには一般の消費者にも広く受け入れられ楽しめる福島産のヒット商品を開発していく
- ・ 第一弾として、福島産の米と糀（こうじ）だけからなる、米糀の美容ドリンク「Cozy Beauty」を発売。斬新なデザインで、今業界注目の発酵食品のイメージを一新し、美容意識の高い女性をターゲットにヒット商品を目指す。



【2016 年 9 月 8 日（木）の式次第と登壇予定者（敬称略）】

会場：CHANNELSQUARE

13:00～	受付開始	
14:30～	主催者あいさつ	復興副大臣 長沢広明
14:35～	来賓者あいさつ	福島県副知事 鈴木正晃
14:40～	福島の食のプラットフォームの説明	(一社)東の食の会 代表理事・楠本修二郎
14:45～	① チームふくしまプライド。について	(一社)ふくしまチャレンジはじめっぺ 代表理事・加藤博敏 ヤフー株式会社 社会貢献推進室室長・妹尾正仁
14:50～	② 福島ファーマーズ・キャンプの紹介	福島農業者の皆様
15:10～	③ Cozy Beauty お披露目	(一社)東の食の会 事務局代表・高橋大就 株式会社フクイチ 代表取締役・尾形寿一
15:15～	応援コメント	クリエイター 箭内道彦（ビデオ） キリン株式会社 CSV 推進部 絆づくり推進室室長・野田哲也
15:20～	フォトセッション	
15:30～	チャンネルスクエアの紹介	(一社)F-World 代表理事・平学
15:35～	質疑応答	
15:45～	試食会と福島農業者と懇親など	
16:30	終了	

【会場アクセス情報】

〒960-0112 福島県福島市南矢野目字夜梨 4-1
TEL：024-572-5612 FAX：024-572-5643



【お車でお越しの方】東北自動車道「福島飯坂 I.C」より市街地方面へ 5 分
駐車場無料(75 台) 大型バス 5 台

【CHANNELSQUARE について】

発表会会場は、震災後に福島の子供達が安心して遊べる場として新設された複合型施設「CHANNELSQUARE」です。未来ある子どもたちのきっかけ創りを行っているこの施設に、ぜひご参集いただき共にこれからの福島を応援してください。

【取材お申込方法】担当：芦間まで以下をご記入の上メールもしくは、電話にてお申し込みください。

ご芳名・御社名・媒体名・参加人数・当日連絡のつく電話番号・今後のご案内をお送りしてよいメールアドレス・カメラの有無・ビデオカメラの有無・記者発表当日または前後での生産者への取材希望などございましたらご相談ください。
試食会の準備の都合上、**9月5日(月)中**にご連絡ください。

【活動の背景】

「福島 12 市町村の将来像に関する有識者検討会」における提言を踏まえ、復興庁は福島フードファンクラブの設立・運営に関する検討に取り組んでいます。一般社団法人東の食の会はその取り組みの中でモデル事業を担い、福島県、ヤフー株式会社、シナジーマーケティング株式会社、一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺの協力を得て、福島県内で「新しい農業」に取り組む気概のある農家の皆様と連携して活動を続けています。

この度その一環として、福島フードファンクラブ「チームふくしまプライド。」設立の運びとなりました。生産者とファンをつなぐ「チームふくしまプライド。」は、福島の農産物を積極的に食べて応援したい全国の方に会員になっていただき、生産者と消費者が交流できる場となり、効率的に福島の商品を購入・販売できる場となることを目指しています。

【一般社団法人 東の食の会について】

人材育成・商品プロデュース・販路マッチングの 3 つの活動を中心に、2011 年 6 月に発足後一貫して東北の食の生産者の皆様のビジネス工場のために活動を続けています。

三陸フィッシャーメンズ・プロジェクトを通じて水産業の皆様と活動をし、サヴァ缶（二種・累計およそ 130 万缶製造達成）や地域横断高機能性海藻のアカモクのリブランディングプロジェクト（対震災前の 5 倍の売り上げ増達成）など、商業的にインパクトある活動を目指し、満を持してこの度福島農業プラットフォームの企画・運営を担当させていただいております。

【問合せ先】一般社団法人 東の食の会 担当：芦間忍

TEL：03-5447-6273：070-2151-0353 / e-mail：shinobu@higashi-no-shoku-no-kai.jp

◇東の食の会 URL：<http://www.higashi-no-shoku-no-kai.jp/>

◇東の食の会 facebook：<http://www.facebook.com/higashinoshoku>

顔写真と事務局からの紹介文	① 名前 ② 活動拠点 ③ 所属団体など ④ 主な生産物と特徴 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加するにあたってのメッセージ ⑥ 事務局コメント
震災後福島に移住した 元気印の新規就農夫婦 	① 稲福由梨 ② 田村市 ③ 福福堂 ④ 無農薬・無化学肥料栽培でつくった黒米と米で、黒米甘酒や黒米うどんなどの6次化商品を開発し販売。その他に、エゴマやブルーベリー、小麦も栽培し、6次化商品に展開している。 ⑤ 福島から食と農を通して、「福」を届けたいという想いで活動しています。東京から移住して、4年目。日々、福島の魅力を体感しながら、その魅力をいろいろな形で発信していきたいです。 ⑥ 田村市から新しい農業をけん引する人材ですとご推薦。熱い想いに向かって真っすぐ進む姿は感動的ですらあります。
日本の耕作放棄地問題に 真正面から挑む新規就農の開墾者 	① 江川正道 ② 喜多方市 ③ 農業生産法人株式会社エガワコントラクター ④ (事業概要)・野菜の生産―アスパラガスを中心とした露地野菜の栽培 ・大型機械による作業受託―圃場整備、作業請負 ⑤ 今までになかった横のつながりができたことで、これからどんな新しい農業のかたちが生まれていくのか、また自分がそこにどう関わっていけるのかすごく楽しみです。 学ぶべき部分は真摯に学び、変えるべき部分はしっかり変える精神で頑張ります。よろしくお願いします。 ⑥ 飾ることなく、気負うことなく、自然に抱かれて営むのが農業だと語る姿と、モノづくりへの探求心には、すでにファンも多いのは納得。
農業の新たな可能性に挑戦し続ける Cool な果樹農家 	① 大野栄峰 ② 石川町 ③ 大野農園株式会社 ④ 創業時からこだわり続けている土づくりの結果、基準値を大きく超える『糖度』と特玉と呼ばれる『大きさ』を誇る、桃・梨・りんごが自慢です。毎年全国 8,000 件を超えるリピーター様からご支持を頂いております。また六次化商品にも力を入れており、G7 伊勢志摩サミットにおけるおもてなし贈呈品として弊社の「りんごジュース」をご選定いただきました。 ⑤ 農園ビアガーデンなどのフルーツ×ツーリズムにも力を入れています。ぜひ「買って食べる」だけでなく、農業の現場に遊びに来て体感していただきたいと思っています。移動式のピザ販売も行っており、県内の農産物とのコラボを積極的に行っています。 ⑥ 大野さんは、大野農園の他に「農業をカッコよく次世代につなげる」Cool Agri という団体のリーダーも務めている、福島農業をけん引する方です。
行動派の米農家。 とにかく明るく楽しい農業を伝えたい！ 	① 加藤晃司・絵美 ② 福島市 ③ 株式会社カトウファーム大野栄峰 ④ 福島市で 36ha の田んぼを作付けしています。主力商品は福島県品種天のつづです。 ⑤ 福島市のこれから増えていく田んぼを積極的に作付けして、福島県の農業経済の活性化につなげていき、新たな商品開発、栽培開発をしていきたいです。 ⑥ 思い立ったら即行動！ 地元の先輩農家さんにも愛される、人と人を繋ぐ明るいご夫婦の周りから生まれるエネルギーで、福島農業に旋風を巻き起こす予感。

顔写真と事務局からの紹介文	① 名前 ② 活動拠点 ③ 所属団体など ④ 主な生産物と特徴 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加するにあたってのメッセージ ⑥ 事務局コメント
いわきの白石さんとは先輩後輩の仲。白石さんの稲わらを食べた和牛を育てています。 	① 草野純一 ② いわき市 ③ 野畜産稲福由梨 ④ 黒毛和種繁殖業(子牛生産)と水稻をしています。耕畜連携で循環農業を実践しています。 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加して地域を超えた連携をする事で、いわき市では生産していない野菜や果物とのコラボ商品を、浜、中、会津の生産者と作れることを楽しみにしています。まずは、いわき産牛肉をつくります！ ⑥ カウボーイハットの畜産家。いわき市内のチームワークは、どんどんその輪を三陸水産や県内の他の地域の農家さんとのコラボにも広げています。これからも楽しみです。
代々受け継がれたふるさとの味を「今」の食卓に届けたい。 	① 後藤正人・千夏 ② 本宮市 ③ 御稲プライマル株式会社江川正道 ④ 米(特別栽培米)ときゅうりを生産。6次化商品として、米や米粉を使ったパン・お菓子や餅、漬物を生産している。現在、お料理専用米を開発中！ ⑤ 福島の農業を知り、繋がっていかれたらと思います。一押し「三五八」は、まだ出会っていない方にどんどん広めていきたいです！ ⑥ 後藤さん家は、仲良くご家族で昔ながらの味を大切に、新しいデータで裏付けられた商品を開発しています。三五八は、新しい発酵食品としてブームの予感！
皆の良き指導者であり、良き仲間、おいしい野菜の伝道者。 	① 佐藤泉 ② 福島市 ③ 有限会社三扇商事 ④ ぼかし肥料を使用して、味の良い有機野菜を作ります。夏場はブルームきゅうりとトマトが人気。果樹は、桃・梨・リンゴなど福島を代表するもの。冬場はニラや春菊、縮木ウレンソウ、茎立菜、グリーンピースと、福島の旬を届けています。 ⑤ 新たにできたこの連携を有効に使う、おいしいふくしまの食べ物をセットでお届けできるようなサービスを作りたい。 ぼかし肥料を使用して40年以上おいしいものを作り続けている技術を、若い世代に伝えていきたい。すでに今回の連携で知り合った農家さんが学びたいと集まってくれて、今後の福島農業が本当に楽しみです。 ⑥ 農業をする人で知らない人はいないと言われる「ぼかし肥料」の開発一家。佐藤さんは、すでに後輩農家への技術指導などリーダーシップを発揮しています。経験を惜しみなく共有する福島農業の監督的存在ですね。
誇り高き生産専門の農家が次のレベルを目指します！ 	① 佐藤忠保 ② 会津若松市 ③ ④ 会津盆地で特Aランク・食味値86のコシヒカリを安定生産しています。トマト、アスパラは冬場の雪をいかしたミネラルがたっぷり入った土壌にこだわり、会津伝統野菜の余時きゅうりも生産中。 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加することで、いろいろと学び生産専門の農業からの脱出を目指しています！！ 消費者との直接販売による最短での出荷が目標です。 ⑥ 農業一家に生まれ、誇りをもって生産を続けています。が、それだけでは終わりたいと新たな出会いから新たな目標を掲げて、躍進中。会津の伝統を守る次世代農家です！

顔写真と事務局からの紹介文	① 名前 ② 活動拠点 ③ 所属団体など ④ 主な生産物と特徴 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加するにあたってのメッセージ ⑥ 事務局コメント
岳温泉のお土産屋さん、元コック おいしいお土産品を作ります 	① 佐藤善彦 ② 二本松市 ③ 株式会社佐藤物産 ④ 安達太良山の麓で採れる新鮮な牛乳を使ってつくったミルクジャムや、手作りのジンジャーシロップ、おんせんたまごを全て自社にて製造しております。 ⑤ 広大な面積の福島県は食材の宝庫！ 全国 1 位は少ないかもしれないけど、オールマイティーに全てレベルが高いです。そんな福島の食材を加工品という形で元コックがお届けします。 ⑥ 福島県は温泉県。 岳温泉のお土産屋さん発の 6 次化商品で、モノをきっかけにした旅や観光にもつなげたいと高い志に向かう姿が印象的。
男前酪農家コンテスト日本一！ の若き酪農家 	① 清水大翼 ② 鮫川村 ③ NPO 法人 明日飛子ども自立の里 ④ 高原で愛情をたっぷり注いで育てているジャージー牛から搾った、栄養たっぷり甘い黄金ミルクを作っています。 ⑤ より美味しく消費者に届けるために「黄金ソフトクリーム（仮）」の商品開発中。 日本では珍しいジャージー牛のミルクをより多くの方に美味しく味わってみたいですね。 ⑥ 体が大きく乳量も多いホルスタインではなく、あえて体が小さく乳量は少ないが味が濃厚なジャージー牛にこだわる、心優しい動物好きの酪農家。 名刺の肩書のセンスに、光り輝くものを感じました。これからの生産者は、明るく積極的に自分を売り込むセンスも必要ですね。
人と人を食で繋ぎ、 地域の活性化及び、 地方と都市を繋ぐ農家 	① 白石長利 ② いわき市 ③ ファーム白石 ④ 主に冬野菜（ブロッコリー、キャベツ、人参、ネギ）を中心に、在来種の里芋、もてネギなどを、自然農法で栽培している。野菜の旬にこだわります。 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプを通して、福島県内の農家のネットワーク強化は元より、県外の人をたち、異業種の人たちにも、福島農家を知ってもらう機会になればと思います。まずはお互いを知る考動。次に知ってから実践の行動。そして、福島ファーマーズだからこそその幸動にする。 まずは、小規模ながらも、各地域でこの動きを産み出すのが、福島ファーマーズのメンバーです！ ⑥ いわきの赤い彗星・自然農法の白石さんは、地産地消を知産知消にしたいと言います。人を知りその背景を知り、モノを介した心の交流と親戚のような温かいお付き合いが生まれます。彼の周りには穏やかな笑顔が常に集まります。
会津の生産者の兄貴的存在。 会津農書の 400 年の伝統を守る 心優しい漢 	① 長谷川純一 ② 会津若松市 ③ 人と種を繋ぐ会津伝統野菜 ④ 江戸時代より伝え続けられる、在来種、固定種の会津伝統野菜（小菊南瓜・余時胡瓜・荒久田莖立・会津丸茄子）を栽培期間内農薬不使用で育てています。 ⑤ 「食とは命をつないで行く事なのだ」 「売れない野菜を作る」その不安よりも「自分が残さなければ、次世代の子供たちに会津の味を残してやれない」ことに危機感を感じ、農業の『食』の地域の未来を守ることを目指しています。会津の農業高校の学生さん達と一緒に「会津の伝統野菜を育て種を守って行く」取り組みもしていますが、地域の枠を超えて、もっと福島ならではの活動を広めていきたいです。 ⑥ 伝統野菜のはせじゅんさんは、とにかく皆の兄貴的な存在で、彼のモノづくりへの厳しさと優しい人柄は、高校生をも魅了しています。種をつなぎ、伝統をつなぎ、明日へと希望をつなげます。

顔写真と事務局からの紹介文	① 名前 ② 活動拠点 ③ 所属団体など ④ 主な生産物と特徴 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加するにあたってのメッセージ ⑥ 事務局コメント
農家さんが来年も安心して種をまけるように・・・とスーパー商人（あきんど）は、顧客視点のマーケティング実践中 	① 廣田拓也 ② 二本松市 ③ 株式会社 GNS／NPO 法人 Leaf ④ えごま、お米、雑穀などの穀物加工品を中心に、ドライフルーツやドライベジを活用した食雑貨品の製造・販売。商品企画も手掛ける。 ⑤ 素晴らしい福島の『モノ』『コト』を加え、美味しく食べる＋作る楽しさを皆様に届けたい。生産者と消費者を繋ぐ架け橋でありたいいつも考えております。 ⑥ すでに福島ファーマーズ・キャンプで出会った方々との連携で商品開発の相談役的存在になっています。冷静な市場分析と肌で受け取る顧客の想いから、的確に売れる商品開発を得意とする、農家さんに寄り添い叱咤激励を続けて共に走り続ける、まさにスーパー商人（あきんど）です。
日本一なんて小さい…と、一気に世界一を目指す桃農家。ギネス達成はすぐそこ！ 	① 古山浩司 ② 福島市 ③ 古山果樹園 ④ とにかく甘い、桃とりんごを作っています。 ⑤ 福島ファーマーズ・キャンプに参加して、ブランドの構築、高価格帯販路の開拓を行いたい。 福島だからこそできることがある、 福島だからこそやれることがある。 震災より5年が経過して未だ何もできていないのであれば、やるべきです。いつやるの？ いまだべ～(笑) ⑥ 口に入れた瞬間、その味に圧倒されます。そして、畳みかけるような彼の明るさと果樹への愛情に触れて、その味にさらに納得します。
夫婦二人三脚で、まじめに取り組む果樹農家 	① 武藤喜幸・慶子 ② 二本松市 ③ マルハラ果樹園/羽山果樹組合 ④ 竹を粉状にして肥料にする、バイオケミカルグリーン農法と減農栽培で安全安心、美味しいリンゴやサクランボを作っています。 ⑤ これからも美味しい果物を届けていきます。 ⑥ 福島市の佐藤泉さんからのご紹介で参加してくださった、新米果樹農家さんです。福島といえばフルーツということに誇りを持っていらっしゃる感じが、ひしひしと伝わってきます。
農家の三女は、誇り高き農業女子になりました。今では若い子供の憧れの存在 	① 渡部佳菜子 ② 西会津町 ③ めごい菜農園 ④ ミネラル豊富な土づくりにこだわり、味が濃く、うま味の強いきゅうり、ミニトマト、ホワイトコーン、カラーピーマンなどの野菜を、除草剤未使用低農薬栽培しています。 ⑤ 就農から走り続けた5年の経験をさらに生かすために、県内のいろいろな農業関係者の方と共に学び、連携して新しいことにチャレンジする勇氣と元氣をもらいたいです。自分の作るものの良さをどう人に伝えるか、何が自分の強みなのかをじっくりと学んで今後に生かしたいです。 ⑥ 震災と時を同じくして、就農。 農業を営む両親の背中をみて育ち、小学生の頃から農家を志して農業短大を卒業したのが2011年3月9日。 積極的に自分の野菜を売り込みに行くバイタリティと、マルシェなどでは大人気の笑顔で、これからの福島農業のリーダー的存在になること間違いなし。今後も注目です！